

# 世界一大きくなる木 “セコイアメスギ”

千葉公園ハス池畔の北端に世界一大きくなる木 “セコイアメスギ” があります。

平成 5 年（1993）に市内稲毛区在住の杉山義命さんからいただいた苗木を植えたものです。植栽当時、高さ 1m の苗木は、2011 年 1 月現在、高さ約 17 メートル、根元径 57 センチと、生長はすこぶる良好です。約 17 年間の平均伸長速度は 0.94m/年であり、1 年に 1 メートル近く生長したことになります。

杉山さんは、千葉市都市局長を務めた方で、在任中の昭和 59 年（1984）9 月、千葉ニューパークホテルで開催された「千葉市の緑と水辺を考える」と題する座談会に、都市整備部長として出席しました。そのとき、出席者の一人である植物学者のプレッサー・ベッキング（カリフォルニア州立フンボルト大学教授）から、お土産にセコイアの節を頂戴し、この節から発芽発根させ苗木を育てたのだそうです。

セコイアメスギ（雌杉）*Sequoia sempervirens* は略してセコイアとも呼ばれ、スギ科セコイアメスギ属、北アメリカ北部原産の常緑針葉樹です。近縁種に最も大きくなる樹木として有名な、セコイアオスギ（雄杉）*Sequoiadendron giganteum* があります。上原啓二著「樹木大説」によれば、セコイアメスギは「高さにおいて最大」、セコイアオスギは「直径において最大」とあります。

世界最大のセコイアメスギは、カリフォルニア州「レッドウッド国立公園」にある高さ 110 メートルの木だそうです。国内では諸説ありますが、「長泉院の大センペルセコイア」幹周 5.35 m、樹高 41m（神奈川県南足柄上市、指定天然記念物）が最大かと思われます。

▼西側から撮影



▼北側から撮影



▼南側から撮影





▲ 下から見あげた双幹の樹形



▲ 根元60センチの所から双幹となっている



▲ 球果は、卵形で 長さ18-25ミリ 鱗片は15-20個